



メディアもネットも止められた今、私たちの声は届かなくなるでしょう。でもどうも忘れないで。私たちは自由をあきらめず、闘い続けています。皆さんと一緒に声をあげてくれることが、私たちの希望です。

チャル・シンさん。その朝デモに行く娘の支度を手伝う父。撃たれる前の現場で。



ミャンマーの学生チャル・シンは「エンジェル」の愛称の19歳。

「好きなことは音楽を聴くこととアニメを見ること。わたしが人生で一番幸せだったのは、選挙ができた時。去年の選挙は私にとって人生で初めて投票ができた日でした。私の夢は、海外に留学すること。これまで準備を進めていました。でも、それは2月1日のクーデターでもうできないと思って、いま真っ暗な明日を見つめています。もしもの時には体のあらゆる部分を寄付します」(本人のフェイスブックより)

現地からの報告文

3月3日水曜日、チャル・シンはミャンマー2番目の都市マンダレーのデモの最前線にいた。英語で「全てうまくいく」と書かれたTシャツを着て。全てうまくいく。民主主義が元に戻れば。全てうまくいく。いつかは前に進んでいく。全てうまくいく。みんなの気持ちがひとつになれば。

チャル・シンは、空に高く 3本の指を突き上げた。あちらからもこちらからも3本の指が突き上げられる。抗議と連帯。3本の指、指、指、指、見渡す限り。

催涙ガスが周囲にドカンドカンと撃ち込まれる、緊張が走る。ここで逃げるか、立ち止まるか。その瞬間緊張は悲鳴に変わった！ミャンマー国軍は実弾を放った！銃弾はチャル・シンの頭を直撃した！

素手で腕を組み 3本指を突き上げ抗議しただけのチャル・シンは標的にされたのだ。

